

NETWORK WORLD

NETWORKWORLDNEWS

Event

NGN構築のための多彩なソリューションが一堂に ネットイベント2006が開催

2006年12月1日、2日の2日間、香港フォーシーズンズ・ホテルで「ネットイベント2006 グローバルプレスサミット」が開催された。

同イベントは、世界の通信関連企業や標準化団体のトップが一堂に会し、最新の通信市場や技術動向および、各社の事業戦略について報道関係者やアナリスト向けにプレゼンテーションを行うものである。

開催初日は、ITUテレコムワールド諮問委員会議長を務める米ニュースターの副社長、レザ・ジャファリ氏による基調講演で幕を開けた。「ネットワークで世界市民は実現できるか」と題された講演では、発展途上国におけるデジタルデバイドの問題を取り上げ、先進諸国およびICT（情報通信技術）関連企業が、そうした国々に対して無関心であると述べた。ジャファ



▲オープニングの基調講演でスピーチを行うITUテレコムワールド諮問委員会議長、レザ・ジャファリ氏

リ氏は、「そうした国々にこそ新しい市場が広がっている」と強調。また、「ICTによって世界が1つになる“世界市民”が実現される。そうした世界を作り上げていくためにも、ICT業界がデジタルデバイド解消へのけん引役にならなければならない」と訴えた。

一方、同イベントに参加した通信関連企業によるプレゼンテーションでは、全世界で構築が進められている「NGN」に関するトピックが中心となり、NGN構築を支援するためのさまざまなシステムやソリューションが紹介された。

イスラエルの通信事業者向け機器ベンダーであるECIテレコムは、同社のMSPP (Multi Service Provisioning Platform) 製品の紹介を行った。MSPPとは多彩なEthernetやATM、T1、E1などさまざまなネットワークインタフェースをサポートするもので、レガシーネットワークから次世代ネットワークへの移行に際して不可欠な製品となる。同社のCMO (最高マーケティング責任者) であるローラ・ハワード氏は、「われわれの製品の特徴は柔軟性と拡張性の高さにある。1つのプラットフォームでEthernetやATMだけでなく、TDMや光伝送を行うDWDM (Dense Wavelength Division Multiplexing) をまでもサポートできる」とセールスポイントを強調した。



▲ECIテレコムの副社長、チャールズ・ケンモア氏（左）と最高マーケティング責任者のローラ・ハワード氏

また、通信事業者に対してIPセントレックスアプリケーションを提供する米シラントロシテムズは、NGN時代において通信事業者が収益性の高い付加価値サービスを実現するためのソリューションをアピールした。

同社では主力製品としては、ホステッド型PBXソフトウェアのほか、アプリケーションサーバ「Sylantro Synergy」を展開している。特にSylantro Synergyでは、有線/無線をシームレスに統合したVoIP環境を実現するための新機能が実装されたことで、さまざまなモバイル端末にフルPBX機能を提供することが可能になったという。

(NETWORKWORLD編集部)